

「野外活動」に期待すること

学校長 駒田 勝

1年生の皆さん、入学式を終えてから2週間が経過しましたが、少しは高校生活に慣れてきましたか？中学生の時とは環境が大きく異なり、戸惑いもあると思いますが、皆さんには、1日も早く新しい生活環境に馴染み、本校が掲げる『文武両道』を体現できる充実した高校生活を送っていただきたいと願っています。

さて、本校では、例年この時期に「野外活動」を実施してきましたが、令和2年度以降、「新型コロナウイルス感染症」の影響により、その実施を見送ってきました。しかしながら、昨年5月、「新型コロナウイルス」の感染法上の扱いが、いわゆる「5類感染症」へと移行したことに伴い、ほぼほぼコロナ前の学校生活が戻ってきました。「野外活動」も例外でなく、昨年度4年ぶりの再開が叶いました。こうして昨年度に引き続き、本年度も「野外活動」が実施できますことは、環境面の改善だけでなく、保護者の皆さま、ご家族の皆さまのご理解・ご協力あってのことと感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

「野外活動」の実施に当たり、私が皆さんに期待することは「仲間づくり」です。この2日間は、クラスの仲間と協働し、交流するよい機会です。積極的に他者と関わりを持ちましょう。そして、友達のよいところを積極的に発見しましょう。学校では気づけない様々な発見があるはずです。また、級友と一緒に寝食を共にすることで、急激にその距離は縮まるはずです。この「野外活動」をきっかけに、大いにクラスの仲を深めていただきたいと思います。

また、日本には古くから「同じ釜の飯を食う」という言葉があります。狭義では、文字通り「同じ物を一緒に食べた仲間」ですが、その意味は広く派生し、広義では「長い時間を共に過ごし、苦楽を共にした仲間」ということでしょうか。

今日、ここに集った280人は、これからの3年間、龍野高校というフィールドで、様々な苦楽を共にし、成長していく仲間です。この「野外活動」が、将来において「同じ釜の飯を食った」と言える仲間づくりの、最初の一步となることを期待しています。